

令和7年度第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会兼人権教育研修

■日時：令和8年2月4日（水） 13：30～16：35

■場所：庄原市立比和中学校

■対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師20名

- 【目的】・児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる道徳科の授業づくりのポイントについて研修を行い、具体的な指導方法を学ぶことができる。
- ・学校全体での組織的な道徳教育推進に向け、各校の取組について交流することを通して、次年度の計画の見通しをもつことができる。

研究授業「比和に生きる」 第1学年

授業者 比和中学校 教諭 小田 真佑奈 堀井 亮佑 谷口 幸子

事後協議「道徳科の充実に向けた授業の在り方について」

庄原市教育委員会 指導主事 小原 義史

指導・助言

広島県北部教育事務所 主任指導主事 渡辺 剛



【事後協議、指導・助言の概要】

事後協議では、2つの視点について、協議を行った。カリキュラム・マネジメントによる道徳教育を計画し、本時の1時間で完結しない授業づくりを行うことによって、生徒の道徳性を効果的に育むことができる。また、生徒と距離の近い地域教材の準備が学校教育全体を通じて行う道徳教育につながる事等について話があがった。

指導助言では、道徳教育の充実には、家庭や地域社会との連携、協力が必要であることを踏まえ、本時の授業づくりの工夫を評価いただいた。また、地域教材作成の留意点や発問の精選により、道徳科の授業づくりがさらに充実することを助言いただいた。

【参加者から】

- ・思考を深めるための切り返し発問や、深めるポイントを教師が生徒の発言を想定して準備することの大切さが分かった。所属校でも思考を深めるための発問の工夫やポイントを校内で共有したい。
- ・その時の授業だけで子供の道徳性を育もうと考えるのではなく、年間を通した学びになるようにマネジメントすること、計画的に教科をつなぎ、教育効果を高めることが大切であると分かった。
- ・道徳科の授業をTTで行いたいと思いました。生徒が多くの先生と対話したり、意見を求めたりする機会を増やしていくことにチャレンジしたいと思った。

講話「人権教育推進研修」 実践交流・演習 「今年度の取組と次年度に向けて」 庄原市教育委員会 指導主事 小原 義史



【講話 実践交流及び演習の概要】

- 人権教育で育むべき三つの要素や、人権教育の視点に立った学校づくりについて講話を行った。
- 第1回研修会で計画した活動計画をもとに、今年度各校が実施した道徳教育に係る研修内容等を交流した。

各校が作成した全体計画をもとに取組について見直しをしている様子

【参加者から】

- ・「人権」とは何か。それをどのように指導していくかを考え、実践していきたい。
- ・交流して改善・加筆した活動計画を今年度の反省を活かして作成し、次年度担当が変わってもスムーズに道徳教育推進教師の活動ができるようにしたい。
- ・授業だけではなく、教育活動全体を通じて行う道徳教育の具体的な場面や活動の工夫を行いたい。